

生徒会活動紹介

生徒会「第2回 多治高活性化プロジェクト」(学校長との座談会)

平成30年7月11日(水)

4月に引き続き、2回目の校長先生と生徒会のメンバーによる座談会が行われました。1回目は緊張した面持ちでしゃべり方もたどたどしい生徒が多くみられたが、そこは執行部、全校集会で話したりする機会が多く場慣れしてきたのか、はっきりと自分の思いを校長先生に話す姿が見られました。

今回は、夏休み明けに行われる文化祭(桔梗祭)を控え、一人一人が意気込みを語りました。

そして、最後に今、生徒会が考えていることを校長先生に伝えました。その中には、多治見の暑い夏を乗り切るため、生徒会室への冷房機器の設置などの要求がありました。そして、生徒からは自分たちの要求だけでなく、この7月に起こった豪雨災害において被災された方々への支援のため、募金活動を行いたい旨の提案がありました。早速これを受け、校長先生自ら多治見駅や多治見市役所と連絡を取っていただきました。熊本地震の際には、生徒と保護者、教職員への呼びかけにとどまり、学校内での募金活動でした。今回は、生徒会の自主的な動きとして、「駅で募金活動を行い、より多くの方々に呼びかけたい」と提案があり、積極的な姿勢がみられたことは、生徒会活動が活発になってきたことをうかがわせるものと感じています。

「多治高活性化プロジェクト」(学校長との座談会)を通して、生徒の考えを校長先生にしっかりと伝え、より良い多治見高校にしていける努力を続けていきたいと考えています。



【座談会の様子】

